

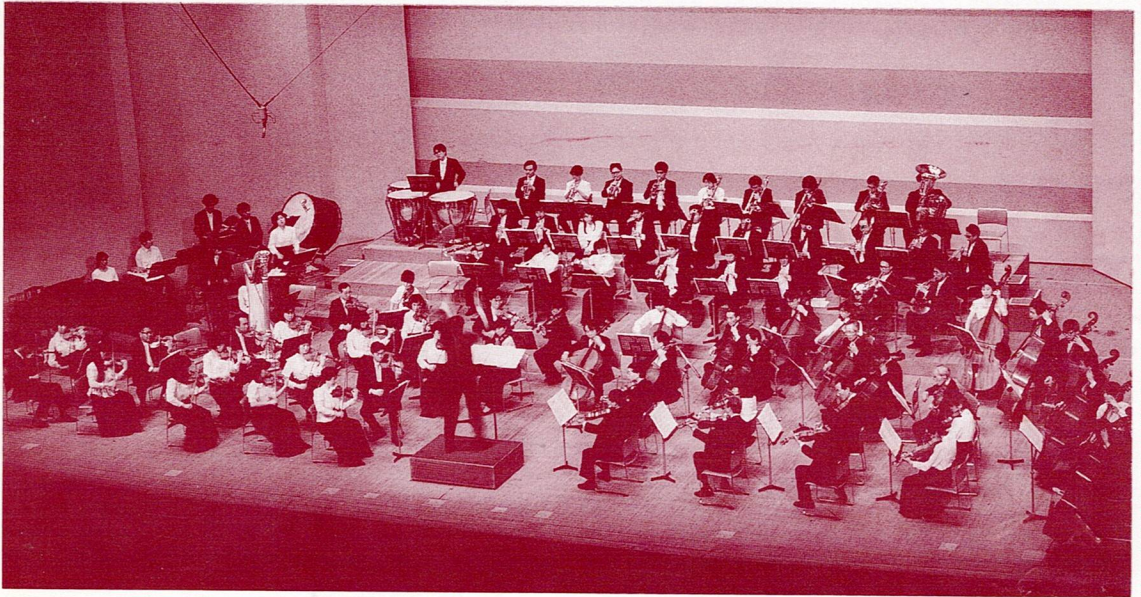
大原町文化センター開館1周年記念

# 第228回 市響・大原町コンサート

1992

■ 平成4年11月29日(日) 午後2時開演

■ 大原町文化センター



228th



主催：大原町文化センター  
市川交響楽団協会



# プログラム

歌劇「魔弾の射手」序曲……………C. M. ウェーバー(1786~1826)

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11……………F. ショパン(1810~1849)

第1楽章 アレグロ・マエストーソ

第2楽章 ロマンツェ

第3楽章 ロンド

— 休 憩 —

交響曲第6番 ロ短調 作品76「悲愴」……………P. チャイコフスキー(1840~1893)

第1楽章 アダージョー・アレグロ・ノン・トロッポ

第2楽章 アレグロ・コン・グラチア

第3楽章 アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ

第4楽章 アダージョ・ラメントーソ

管 弦 楽：市川交響楽団  
楽譜協力：トヨタミュージック  
ライブラリー

## プロフィール

### ●指揮：津田 雄二郎

昭和31年青森県に生まれる。県立国府台高校、東京芸術大学器楽学科を卒業。トロンボーンをディー・スチュワート、伊藤清、永浜幸雄、クルト・ブッケ、牧野守英、ジョー・アレッシに、指揮法を大友直人、佐藤功太郎、Vnを桑原幹子、対位法を小倉伸作各氏に師事。現在県立鎌ヶ谷高校で教鞭をとり、同校吹奏楽部、合唱部の指導に当たる傍ら、慶応義塾大学ウィンドアンサンブルの指揮者としても活躍している。市響の演奏会では昨年12月の「ファミリー交響楽コンサート」に続いての出演で、その間バッハ・カンタータ演奏会、モーツァルト「レクイエム」他の演奏会に客演し、指揮者として研さんを積んでいる。

### ●ピアノ：小佐野 圭

国立音楽大学を武岡賞を得て卒業。同大学院修了。長田明男、数野洋子、藤澤克江、御木本澄子、久本成夫、長峰和子の諸氏に師事。

国立音楽大在学中よりエリック・ハイドシェーク、ペーター・ショイムシュ、イエルク・デームス、各氏に師事して個人指導を受ける。

#### ＜主な演奏歴＞

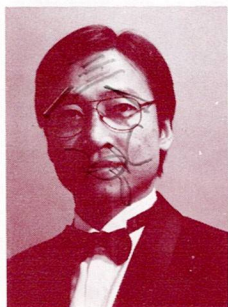
1977年 東京文化会館推薦音楽会出演。  
1980年 読売新人演奏会出演。  
1982年 甲府・東京にてデビュー・リサイタルを開催。  
1984年 東京交響楽団主催公演、秋山和慶の指揮でベートーヴェン第5協奏曲を共演。  
1986年 二台のためのデュオ・コンサートを甲府・桐生・飯田・東京において開催。  
同 年 ケルン音楽大学において1ヶ月間ウ

イルヘルム・ヘッガーに師事して研鑽をつむ。  
1988年 ソロ・リサイタルをサントリーホールで行い好評を得る。  
1989年 新日フィル・新ウィヴァルディのメンバーとピアノ五重奏曲共演。  
1990年 全国青樹祭記念公演、山梨交響楽団指揮、田中一嘉で共演。  
1992年 マルグリット・フランス(Violin)とデュオ・リサイタルを行う。

その他、YAMAHA、KAWAIサロンコンサートにも度々出演。

邦人作品の演奏にも積極的に取り組んでいる。(主催グループ「和」)最近ではコンチェルトを含むソロ活動の他、室内楽あるいは声楽リサイタル伴奏等、アンサンブルピアニストとしての評価も高い。

現在、玉川大学芸術学科講師。国立音楽大学講師。



津田 雄二郎



小佐野 圭



# 曲 目 解 説

## 歌劇「魔弾の射手」序曲……………ウェーバー

この歌劇はウェーバーの作曲した代表的な作品のひとつで1821年にベルリンで初演されました。

17世紀のボヘミア（今のチェコ）の森の中が舞台で、悪魔に呪われた狩人マックスと敵役のクローネ、狩人の首領の娘アガテを中心に進められ、最後には神の力によりアガテが救われ、主人公の呪いも解けて、全員で神に感謝するところで物語が終わります。

今回演奏する序曲は幕が上がる前に演奏され、これから始まるオペラへの導入の役目を持っています。最初は静かな薄暗い森の中の情景を、次にホルンの合奏により合唱曲にもなっている有名な旋律を聞くことができます。曲はだんだん動きを増し、オペラの中で用いられる旋律が現れます。途中ヴァイオリンの動きに呼応して、トロンボーンによる悪魔を示す和音が見えかくれしながら、神の救済を表わすファンファーレへとつながり、明るい曲想となって序曲を締めくくります。（演奏時間 約10分）

## ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 作品11……………ショパン

ピアノ音楽の大作作曲家フレデリック・ショパンは1810年にポーランドで生まれました。彼は12歳の時にワルシャワ音楽院で和声学と対位法を学んだほかは、独学で語学や芸術の教養を身につけ、多くのピアノ曲を書きました。1830年、20歳になった彼はウィーンをめざし故郷のポーランドを離れることとなります。このときに開かれた告別演奏会で発表されたのが、今日演奏する第1番のピアノ協奏曲です。

ショパンの数多くのピアノ作品を残しましたが、その他の楽器やオーケストラを使った作品はごく僅かしか残っていません。また作品としての完成度もピアノ作品と比べて劣っていると評価されています。これは彼がピアニスト兼作曲家であり、自分の演奏する音楽（ピアノの音）を基準として作曲を行ったからだ、と言われていいます。しかし、それはバイオリン作品における、パカニーニの技巧にはしりすぎた作風と違って、旋律の中にそのときの感情や状況が浮かび上がってくる音楽となっています。

音楽の都をめざす青年ショパンの夢と希望、生まれ故郷のポーランドへの惜別がこの協奏曲から感じられることと思います。なお彼はパリで結核のため39歳の若さで死亡しています。

第1楽章 4分の3拍子のホ短調で始まり、ホ長調の第2主題が提示されたあとで独奏ピアノが演奏に加わり展開部、再現部へと進む。

第2楽章 4分の4拍子の緩徐楽章で弦楽器から木管楽器へと移る和音を伴奏に独奏ピアノが旋律を奏でる。短い序奏の後、切れ目なく次の楽章に入る。

第3楽章 4分の2拍子のロンド形式で、軽快な第1主題と叙情的な第2主題が交互に現れ、曲を締めくくる。（演奏時間 約45分）

## 交響曲第6番 口短調 作品74「悲愴」……………チャイコフスキー

彼の突然の死の約2か月前に完成されたこの交響曲は、初演後に命名された「悲愴」という表題に示されるように、全楽章にわたって人生への不安、恐怖、悲しみが曲の基盤となっている。

それは第1楽章冒頭のファゴットの旋律（例譜①）のように直接的なものであったり、第2主題のように悲しさの中の安らぎを思わせる旋律で、間接的に表わされたりしている。また、いきなり雷鳴のごとく始まるアレグロ・ヴィーヴォの部分は、つきまとう不安に対する怒りとなるが、これもトロンボーンの下降音によって打ちのめされ、もとの主題にもどる。

第2楽章は4分の5拍子の不安定なリズムのうえにワルツもどきの旋律が流れる。（例譜②）中間部はエストニア民謡に基づいている。

ヴァイオリンの細かい動きで始まる第3楽章は、管楽器で行進曲風の旋律が曲全体を盛り上げるが、これも勝利の行進ではなく、合間に見え隠れするベートーヴェンの「運命」のテーマ（例譜③）が暗い影を落とす。

第4楽章は悲しみに打ちひしがれるような第1主題と、ホルンのワルツ風の信号音にのって過去を夢見るような優しい旋律の第2主題がくり返され、最後はコントラバスの最弱音で曲を閉じる。（例譜④）

ところで、この交響曲には聴き手にとって3つの関門があります。

- ・第1楽章の途中でオーケストラがいきなり最強音になり、眠気がさめるところ。
  - ・第3楽章が華々しく終わるため思わず手をたたいてしまうこと。
  - ・第4楽章の一番最後でコントラバスがいつまで弾いているかわからないこと。（いつ曲が終わったかわからない）
- むずかしいことは考えずに、こんな楽しみ方をさせていただくのも良いかと思います。そして、静かに曲が終わり皆さんの頭の中からコントラバスの響きが消えるまで、しばらくの時間を私どもと共有できれば幸いに思います。ながらくのご静聴ありがとうございました。（演奏時間 約45分）

### 第1楽章の冒頭（ファゴット）



### 第2楽章の冒頭（チェロ）



### 第3楽章 186小節目（ホルン・トランペット） —「運命」の断片—



### 第4楽章の最後（コントラバス）





## 本日の出演者

### ●第1ヴァイオリン

生山 陽・石井 久雄・角川 総一・竹内 甲・長尾 浩行・永田 匡・広浜 浩司  
福原 祥子・松山 和子・山岸 万紀・渡辺 昭子

### ●第2ヴァイオリン

石本 恵理・亀井 玲子・鈴木 薫・須永 恒雄・堤 哲児・根守 弘和・久田しげ子  
三木美千子・村上 葉子・村田 康代

### ●ヴィオラ

斎藤十一郎・高橋 行継・竹内ひとみ・星 乗昭・村上 賢一・横田 行雄・横山 淳

### ●チェロ

瀬川 清・田頭 扶・中村 公一・樋口 進・福原 耕二・横田 朝之

### ●コントラバス

菊池 克彦・鈴木 重則・三輪 泰之・村上 信乃・李 隆子・河内 恵二

### ●フルート

木村 純一・木村真諭紀・佐藤 洋行

### ●オーボエ

荒井 淳・二村 直子

### ●クラリネット

一瀬 直美・多田 準也・時田 雄・半藤 嗣人・吉野 智久

### ●ファゴット

金坂 哲・小島 厚・戸川 安道

### ●ホルン

河野 和正・越塚 康央・近藤 利昭・嶋村 恒夫・松本 英輝・市木 彦浩

### ●トランペット

浅岡 幹晶・安藤 宣明・一樹 泰一・新井本昌宏

### ●トロンボーン

久保 昭・糸 秀樹・梶谷 妙絵・野木夕起子・藪崎 裕至

### ●チューバ

渡辺 鉄雅

### ●打楽器

岩橋 正治・木村 範子・丹羽 裕子・大串 良子

## 大原町民憲章

わたくしたち大原町民は、先人の築かれた歴史と文化を重んじ、青い海と緑あふれるこの郷土に誇りを持ち、心のかよいう活力ある明るい町の発展とおたがいの幸せを願い、この町民憲章を定めます。

1. 恵まれた郷土の美しい自然を愛し住みよい環境をつくりましょう。
1. 人と人との友愛を深め、心のかよいうふるさとをつくりましょう。
1. 勤労を喜び、責任を重んじ、豊かで充実した生活をつくりましょう。
1. 教養を高め、スポーツに親しみ、明るい健康な心身をつくりましょう。
1. お年寄り生きがいをもち、若者は夢をいだき幸せな明日をつくりましょう。